

平成 31 年第 1 回定例会総体質問通告事項

3 月 7 日 午 後	檀 上 正 光 議 員 (市 民 連 合)	質問方式:一問一答方式
	<p>1 国家予算について</p> <p>(1) 国の予算は 101 兆円を超える中、防衛費は 7 年連続増加の一方で、社会保障費の自然増分は圧縮され続けていることから、何のための消費税増税か市長の見解を求める</p> <p>(2) 逆進性の高い消費税増税対策で「臨時・特別の措置」としてポイント還元やプレミアム付き商品券などを発行し、増税批判をかかわそうとしていることについて市長の見解を求める</p> <p>2 地方交付税や交付金、地方特例交付金について</p> <p>(1) 地方交付税は昨年度より 7 億円の増加を見込んでいることについて、合併算定替えの影響額と交付税増額の主な要因は何か</p> <p>(2) 歳入の交付金で、自動車取得税交付金の減額要因と環境性能割交付金創設と皆増の関係と要因は何か</p> <p>(3) 地方特例交付金の中の「子ども・子育て支援臨時交付金」の対象年齢や子どもの数など内容を問う</p> <p>(4) 大幅な伸びを見込んでいる地方特例交付金の主な内訳は何か</p> <p>3 新年度予算の総体説明について</p> <p>(1) 尾道創生について</p> <p>ア 「尾道創生に向けた独創的なまちづくり」とはどのようなことか</p> <p>イ 「SAVOR JAPAN」に尾道市での取り組みが認定された経過や実行組織についてお聞きする</p> <p>ウ 「SAVOR JAPAN活動推進支援事業」における地域固有の食や食文化、6次産業化とはどういう内容か、また、地域食材の活用についてもお聞きする</p> <p>エ 「尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「重要業績評価指標」で特徴的な結果はあるか。あればそれは何か</p> <p>オ 「尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の総括や結果は、いつ、どのような方法で公表するか</p> <p>(2) 「尾道港開港 850 年」について</p> <p>ア 「市制施行 120 周年」で実施した様々な事業について市長の認識を問う</p> <p>イ 開港 850 年の節目にあたり、市長の思いを問う</p>	

(3) 新本庁舎の建設について

ア 新本庁舎での業務はいつから開始されるのか

イ 新本庁舎完成後の現庁舎の解体や跡地の整備、市営久保駐車場の解体と跡地整備などの工事期間や完成時期を問う

4 尾道市の教育について

(1) 広島県の小学校教員採用試験の倍率は、昨年と今年それぞれどうなっているか、全国的にはどういう位置にあるか

(2) 採用試験の倍率上位の3県はどこで、その倍率はどうなっているか

(3) 「教員採用試験の倍率が3倍を下回ると教育の質が問われてくる」との指摘があるが、教育長の認識は

(4) 小学校教員の採用試験の倍率や給与の格差によって、広島県、ひいては広島市と尾道市の間で教育の質に格差が生じる危惧はないか

(5) 教員のストレスが子どもに与える影響について、市教委の分析は

(6) ストレスの要因についての市教委の考えは

(7) 残業時間月45時間、年360時間を早急に達成するためのプロジェクトはどうなるのか

(8) 新年度、市内教職員の正規・臨時の割合、人数はどう改善されるのか